

1980

省令乙第百十六號  
陸軍々吏學舎條例別冊ノ通定ム

明治十九年八月六日

陸軍大臣伯爵大山巖

陸軍省

0852

陸軍軍吏學舎條例

## 陸軍々吏學舎條例

## 第一章 總則

第一條 陸軍々吏學舎ハ之ヲ東京ニ置キ陸軍省會計局ノ管理ニ屬シ學生ヲ召集シ之ニ要用ナル學術ヲ教授シ軍吏部士官ト爲ルヘキ者ヲ養成スル所トス

第二條 學生ハ陸軍一等書記ノ内ヨリ將來ニ望有ル者ヲ撰拔シ檢査ヲ爲シ合格ノ者ヨリ採用ス

第三條 學生ハ日々通學セシメ修學上所要ノ諸器具及ヒ書籍消耗品類ハ總テ之ヲ貸與或ハ支給スヘシ

第四條 學生ハ其名籍素ヨリ原管ヲ離ル、コナシ

ト雖モ入學中ハ學舎ノ管轄ニ属ス故ニ自己ノ願  
 届等總テ學舎附官僚ニ準シ又原管ヨリ各人ニ達  
 スヘキ諸件ハ必ス學舎長ヲ經由シテ之ヲ爲スヘ  
 シ

第五條 學生ノ授業ハ概テ十ヶ月トシ毎年九月ニ  
 始メ翌年六月ニ終ルモノトス

第六條 學生修學中ハ情願ヲ以テ歸省又ハ退學ス  
 ルヲ許サス然レモ病患等ニテ卒業ノ目途ナキ  
 者ハ詮議ノ上退學ヲ命シ原管ニ復歸セシム

第七條 學生修學中學年期ノ央ニ於テ中試験ヲ爲  
 シ以テ其等級列叙ヲ更定ス

第八條 學生修學ヲ卒レハ大試験ヲ行ヒ及第スル

者ニハ軍吏適任證書ヲ附與シテ原管ニ復歸シ本務ニ服セシメ置キ軍吏部士官ニ缺員アルトキ其列叙ニ從ヒ一旦本官ヲ免シ更ニ三等軍吏ニ任スルモノトス又落第スル者ハ其儘原管ニ歸シ本務ニ服セシム

第九條 學生卒業ノ時ニ當リ病患等ノ故ヲ以テ豫定ノ修學ヲ終ヘス大試験ヲ受クルコ能ハサル者又ハ及第シ得サル者ト認ムルトキハ詮議ノ上尙ホ若干月修學セシムルコアリ

第十條 學生ノ召集ハ會計局長其人員及ヒ檢査格例ヲ定メ陸軍大臣ノ許可ヲ得テ近衛鎮臺監督部ニ告達スヘシ

第十一條 學生召集ノ告達アレハ會計局次長及ヒ

近衛鎮臺監督部長ハ管下一等書記中ニテ第二條ニ適當ナル者ヲ撰ミ検査委員ヲ設ケ検査ヲ行ヒ合格ノ者ハ其名簿ヲ製シ之ニ各自ノ考科表并ニ検査書類ヲ添テ直ニ軍吏學舎ニ致スヘシ

第十二條 學舎長ハ前條ノ書類ヲ受領スレハ之ヲ點檢シ入學人名ヲ撰定シ自己ノ意見ヲ附シテ會計局長ニ呈ス會計局長ハ尙審査シテ之ヲ決定シ各其所管ニ通報シテ入學セシム

## 第二章 職制

第十三條 軍吏學舎長ハ一二等監督ヲ以テ之ニ任シ會計局長ニ屬シ學舎中一切ノ事務及ヒ學生教

育ノ方法等ヲ總判シ其内規ヲ定メ學舍附諸官ヲ  
統轄シ其勤惰能否ヲ監視ス而シテ其管掌ノ事務  
ニ就テハ擔保ノ責ニ任ス

第十四條 學舍長ハ會報時限ヲ定メ教官ヲ會シ諸  
報告ヲ受領シ諸般ノ事ヲ協議ス

第十五條 學舍長ハ時々教場ニ臨ミ諸教方ヲ檢シ  
學術進歩ノ狀況ヲ察シ之ヲ會計局長ニ報告スヘ  
シ

第十六條 教官ハ監督部上長官士官若クハ軍吏部  
士官又ハ文官ヲ以テ之ニ充テ舍長ノ命ニ從ヒ學  
生ノ教授ニ任シ及ヒ教程ノ編纂舍中取締ノ事ヲ  
擔任ス

第十七條 教官ハ學生ノ取締ヲ擔任シ學術進歩ノ  
 狀況ヲ時々學舎長ニ報告スヘシ

第十八條 教官ノ内一名ヲシテ學舎中一切ノ事務  
 ナ掌ヲシメ其下ニ書記或ハ屬二名ヲ置キ舎中ノ  
 記録及ヒ書籍器具消耗品等ニ係ル雜務ヲ分掌セ  
 シム

第十九條 學舎長不在ノ時ハ教官ノ内高級故參ノ  
 者之ヲ代理ス



6580

陸軍々吏學舎定員表

	舎長	一等監督	
	一	二等監督	
	教官	三等監督	
		監督補 一等軍吏	
	八	二等軍吏	
	書助 記教	屬 (自五等至十等)	
二四			
	十	計	
	五		

四